

The door to the books

令和6年度
文部科学大臣表彰
子供の読書活動優秀実践校

12月

こんにちは！図書委員会です。
12月、今年ももうすぐ終わりますね。皆さんにとってどんな年でしたか？
日本は物価高騰で、私たちの生活に重く押し掛かっています。
図書館の本を利用するなど、賢く生きる方法を探していきましょう。
12月の楽しみは、やはりクリスマス！
図書委員がクリスマスにまつわる本を選んでみました。
ぜひ読んでみてください。

令和6年度
五島高校：図書委員会
12月1日作成
12月23日発行

図書委員制作担当
1-1
1-1
1-2
1-2

クリスマス12のミステリー
著者：アシモフ他編 訳：池央耿
出版社：新潮社

ジングルベルのメロディーが流れ、もみの木の飾り付けが終わりケーキも用意して、あとはサンタのおじさんを待つばかり。

しかし、油断してはいけません。犯罪者はクリスマスだからってお休みしたりはしないから…。

ユーモア・ミステリーから本格密室殺人まで、聖誕祭にまつわる12編を Dr. アシモフが精選。

この本をすてきなクリスマスプレゼントに！

雪のひとひら

著者：ポール・ギャリコ 訳：矢川澄子
出版社：新潮社

この本は、雲から生まれ地上に降り落ちた『雪のひとひら』の一生を描いたものです。なぜ自分は生まれたのか、命とは、愛とは、家族とは、そして死とは。

人生において誰もが突き当たる命題を雪のひとひらの人生に置き換えて綴られています。

美しく、味わい深い作品をぜひお楽しみください。



鷺と雪

著者：北村薫
出版社：文藝春秋

二・二六事件の時代を背景に、上流階級のお嬢と女性の運転手による日常の謎解きの裏に隠された悟りの真実。

昭和初期の史実と空気を丁寧に描いたミステリー作品を堪能してください。

孤島の祈り

著者：イザベル・オティシエ 訳：橘明美
出版社：集英社

慎重派のルイズと、楽天家のリュドヴィク。「思いきり生きよう！」と冒険に出た若い夫婦は、南極近くの無人島に上陸した際、突如の風に船を奪われてしまう。

ペンギンを捕獲して腹を満たす日々。極限の生活は、人間の身体と心を蝕む。

女性海洋冒険家による、サバイバル小説。予想外の展開にあなたはきっと絶句します。

クリスマス・ファンタジー

編集：風間賢二
出版社：筑摩書房

メリークリスマス！

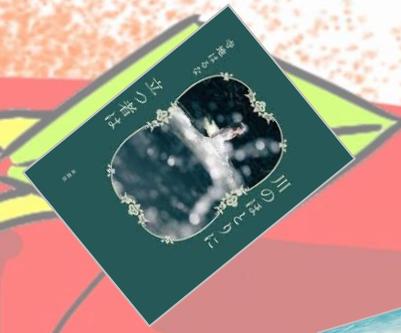
この言葉の響きは遠い昔に生まれ、いつまでもそして宇宙の果てまでも広がっていく…、キリスト教徒でもないのになんだかワクワクする私。世界中の人達を幸せにしてくれます。

クリスマスにまつわるファンタジー、ホラー、ロマンスにSFといったバラエティ豊かな内容のアンソロジーを楽しんでください。



冬休み特集

12月から1月まで、クラス対抗多読書コンクールです！
先日、クラスごとに沢山の本を貸し出しました。ありがとうございました。
友達同士で本の話が増えるのを楽しみにしています。
そして、冬の夜長を暖かい部屋でゆったりと読んで欲しい…。
次回、読んで欲しいおススメの本を紹介します。



雪猫

著者：大山淳子 出版社：講談社

自分(猫)を救ってくれた少女に恋をした猫のタマオ。猫だから当然この恋は叶わないが、せめてその少女を守ろうと奔走する。ひたむきで、けなげで、切ない猫の物語。猫の一途さに感動します。

猫にここまで想ってもらえたら幸せだろうな。
猫が好きな人にぴったりの一冊です。
表紙もとてもキレイです。

白い牙

著者：ジャックロンドン 訳：白石佑光
出版社：新潮社

ホワイト・ファング(白い牙)と呼ばれた一頭の孤独なハイイロオオカミの数奇な生涯を描いた一作です。オオカミ目線で描かれ、何度も映画化された動物文学の世界的傑作です。

動物好きな人は、ぜひ読んでみてください。

川のほとりに立つ者は
著者：寺地はるな 出版社：双葉社

カフェの若き店長・原田清瀬は、ある日、恋人の松木が怪我をして意識が戻らないと病院から連絡を受ける。松木の部屋を訪れた清瀬は、彼の秘密のノートを見つけてしまった。彼が自分に隠していた秘密を少しずつ知ることになる。

相手の心や気持ちを読みにくい今の時代だからこそ考えさせられる作品となっています。

私自身の考え方や、物の見方がちょっと変わったかもしれない、そんな風に思える物語に出会いました。

夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く
著者：汐見夏衛 出版社：スターツ出版

この本の主人公は、誰からも好かれるような優等生を演じつづけ、どこか無理を重ねていました。そんな彼女に対し、容赦なく「嫌いだ」と言った男の子。

主人公は自分の気持ちをはっきり言う彼が苦手だったが、彼女を救ってくれたのは彼でした。しかし、2人とも秘密を抱えていて…。

そんな彼らの秘密と、タイトルの意味を知るとき、温かな涙があふれます。悲しくも温かいラブストーリーをぜひ読んでみてください。

さくら日和

著者：さくらももこ 出版社：集英社

この本は、「ちびまる子ちゃん」でお馴染みのさくらももこさんが著したエッセイです。

さくらさんらしい自然体でほのぼのとした、たまに、クスッと笑ってしまうような小説がたくさんあります。学校や人間関係で悩んでいる人は、ぜひ読んでみてください。きっとさくらさんの穏やかな世界に癒されることでしょう。

チョコレート工場の秘密

著者：ロアルド・ダール 訳：柳瀬尚紀
出版社：評論社

映画チャーリーとチョコレート工場の原作です。児童書ですがチョコレート工場の奇想天外なアイデアとかなりきつめのブラックユーモアがきいていて高校生でも十分楽しめる一冊です。

図書館統計のお知らせ

11月の貸出冊数は90冊です。

昨年度は151冊でした。

11月昼休みと放課後の入館者数は226人/17日です。

返却日・開館日のお知らせ

12/16 貸出分から

返却日はR7.1.20です。

※開館日の確認は、各階の廊下に「図書館カレンダー」を掲示しています。